



ひなまつりフェア開催! (JA産直ふれあい市場「よりん菜」)

3月3日、廿日市市のJA産直ふれあい市場「よりん菜」で「ひなまつりフェア」を開催しました。
江田島産のスイートピー300本を購入者へ先着プレゼントしました。また「お米すくい」「焼き芋販売」「みかん・お米の試食会」などが行なわれました。



盟友交流会を開きました (青壮年連盟佐伯中央地区本部)



JAひろしま青壮年連盟佐伯中央地区本部は2月15日、広島県廿日市市の宮島コーラルホテルで盟友交流会を開きました。盟友17人

とJA役員11人が出席。4グループに分かれて意見交換し、管内の農産物のブランディングや盟友の身近な悩みなどの共有と解決策、今後の活動について話し合いました。安芸地区本部の盟友でJA広島農青連の副委員長を務める岡崎和也さんも出席し、地域の枠を超えて交流しました。
佐伯中央地区本部の正木彬委員長は「親睦を深めながら意見を交わすことでよかったです。互いに協力し、地域農業を盛り上げていきたいです」と話しました。
佐伯中央地域本部の中本誠二営農経済部長は「初めてグループディスカッションを行いました。どこのグループも活発な意見が出て心強く感じました。今後も絆を深め、積極的に活動していただきたいです」と期待を寄せました。



佐伯長ナス生産者部会総会 (友和支店(廿日市市友田))

3月12日、JAひろしま佐伯長ナス生産者部会は友和支店2階会議室で、令和5年度総会を行ない、部会員やJA役員ら16人が参加しました。
総会では、前年の事業報告、決算報告、令和6年の事業計画、予算案など2議案が審議され、すべて承認されました。
今年度は、病害虫防除等の勉強会やJA産直ふれあい市場「よりん菜」での対面販売などを行ない、栽培技術の向上やブランドのPRに積極的に取り組むこととしました。阿部勝也部会長は「ナスに興味がある人をつなげ、生産数を増やしていきたい」と呼びかけました。



農作業の安全と元気な苗の生育を祈り祈願祭 (JAひろしま佐伯中央地域本部育苗センター(廿日市市峠))



3月11日、JAひろしま佐伯中央地域本部育苗センター(三田農園)において、農作業の安全と苗の生育を祈る祈願祭が津田八幡神社の神事で執り行なわれ、JA役員等関係者15人が出席しました。
同センターでは3月末からコシヒカリなど早生品種から播種作業が始まり、今年度は約2万5千箱分の水稻苗を栽培し、4月中旬から配付予定です。

なるほどえ~のう! 営農情報

水稲

出芽作業とその後の管理

播種した種もみの出芽作業から、田植えができる苗までの管理について説明します。

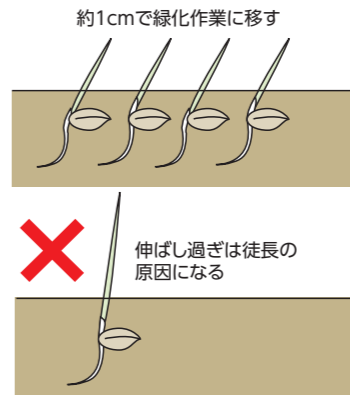
① 出芽作業

適温の28~30℃で管理すると約2日で出芽の状態となります。育苗器を使用される場合は、直射日光の当たらない場所に設置し、使用前には水槽の水の量、温度をよく確かめておきましょう。また、温度の高くなりやすい最上段は、土のみを入れた箱を置くといいでしょう。加温開始から2日間は、保温カバーを開けないようにしましょう。育苗器の場合は、育苗ハウス内に、土

② 緑化作業

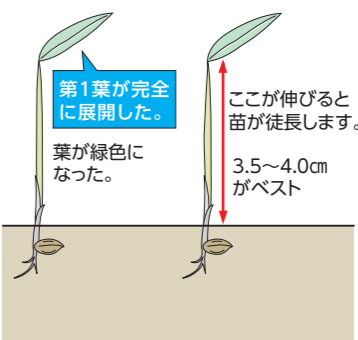
暗い場所が出芽させた白い芽を弱光下で2~3日ほどかけ緑色にする作業を「緑化」といいます。強い光を急激に当てると、葉緑素が形成されず白化苗になりやすいので気をつけましょう。緑化期間中は、昼間20~25℃、夜間は15~20℃で管理します。「苗の姿は緑化期間の温度管理で決まる」といわれる程重要となりますので、温度計を設置しチェックしましょう。

【図1】 出芽から緑化へのタイミング



を詰めて灌水した捨て箱を最上段と最下段に置き、間に5~6段ぐらい積み重ねてポリフィルムや被覆資材で覆います。覆土した苗箱を十分日光に当て床土を温めてから積み重ねると効果的に保温できます。

【図2】 緑化から硬化へのタイミング



【硬化から硬化へのタイミング】葉が緑色になり、第一葉が完全に展開したら硬化に移ります。苗丈は3.5cm~4cm程度です。【図2】

③ 硬化作業 ※JAで稚苗を購入された方は、この作業から行なってください。緑化した苗を田植えまでの間、自然条件に任せる作業を「硬化」といいます。

徐々に外気温に慣らしていきます。保温のための被覆資材は原則として使用しませんが、中山間地域については5℃以下の気温に合わせないよう必要に応じて使用してください。降霜の恐れがあるときは、さらに保温資材をかけましょう。保温資材を使用した際は、高温(40℃以上)にならないよう注意しましょう。また、水のやりすぎは徒長の原因となります。朝1回十分行ないましょう。ただし、乾燥を避けるためやむを得ず2回灌水する場合は床土の温度が下がりますので、夕方への灌水は避けましょう。特に育苗箱の緑は乾燥しやすいので念入りな灌水が必要ですが、土が乾き気味でも夕方に葉先に水滴がつく場合は健全です。

作業別管理温度

	日中	夜間
出芽	28~30℃	
緑化	20~25℃	15~20℃
硬化	15~20℃	10~15℃

家庭菜園

キクイモ 生育旺盛な健康野菜

キクイモは、北米原産のキク科マワリ属の多年生植物です。やや冷涼な気候に適し、生育期間は中間地では4~10月で、10月ころに開花し、収穫期は茎葉が枯れる11月からで、シヨウガに似た塊茎を収穫します。キクイモにはイヌリンという水溶性食物繊維が含まれ、血糖値の上昇を穏やかにし、中性脂肪を下げる効果があるといわれている成分です。

■品種 塊茎の表皮が白色と紫色の系統があり、紫種がやや大型です。

■畑の準備 植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを施しよく耕します。1週間前に畝間90cm、深さ20cmの溝を掘り、畝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100gと堆肥1kg程度を施し、土を戻してよく混ぜておきます(図1)。

■植え付け 種芋(塊茎)は重さ20g程度に切り分け、深さ10cm程度に、株間50~60cm間隔で植え付けます(図2)。

■管理 どんな土でもよく育ちますが、過湿を嫌うため、やや乾燥気味に管理します。塊茎から多くの芽が出るときは、芽かきをして、2、3本に整理します。

■支柱立て・摘心 草丈が3mにも伸びて倒れやすくなるので、十分に土寄せをし、1.5m程度の支柱を立て株の周囲にひもを巡らせ倒伏を防ぎます(図3)。さらに、草丈が支柱の高さの頃、茎の先端を摘心します。10月ころからヒマワリに似た黄色の花が開花します。日持ちの良い切り花としても観賞できます。

■病害虫の防除 強健で病害虫の被害は少ない野菜ですが、生育後半にはうどんこ病が発生することがあります。気になるときは、カリグリーンなど野菜類の登録農薬で防除します。

■収穫 茎葉が枯れてきたら、地際から茎葉を刈り取って、塊茎を収穫します。掘り上げた塊茎はしなびやすいため、3月までは土中に置いて必要に応じて収穫しましょう。収穫後はポリ袋に入れ、冷蔵庫の野菜室で保管します。なお、畑に残した塊茎は野生化してはびこるので、全て掘り上げます。

(園芸研究家 成松次郎)

図1 畑の準備

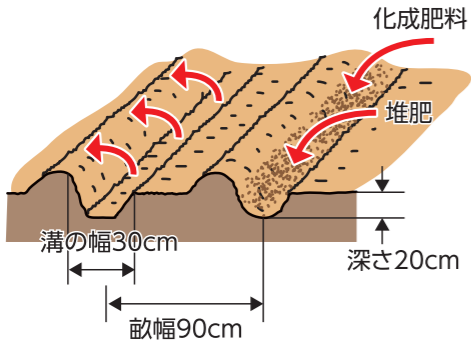


図2 植え付け

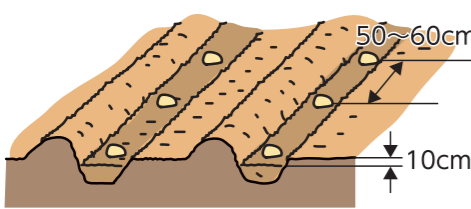
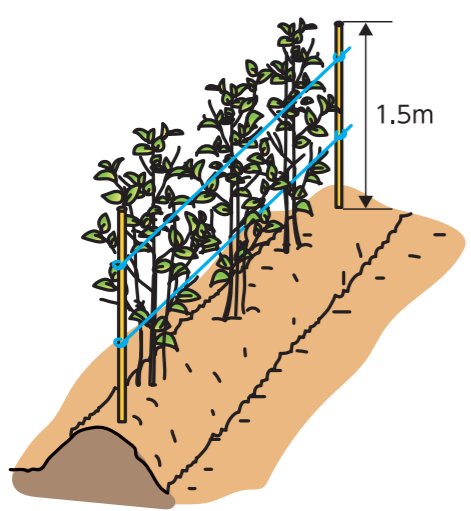


図3 支柱立て・摘心



お知らせ

楽しい催し物がいっぱい! みんな遊びに来てね!!

マロンの里 春まつり

日時 令和6年4月21日(日) 10:00~15:00

場所 マロンの里 交流館 大竹市栗谷町大栗林 195-12

イキイキ女性部



女性部は1月下旬から3月上旬まで、各地域で手作りみそ仕込みを行いました。10支部とフレッシュユミズ部会の会員ら計120人が参加しました。

やわらかく煮た大豆に塩切り米こうじと煮汁を混ぜ合わせ、専用の機械でミンチ状にして、みそ玉を作ります。出来上がったみそは、持ち帰って風通しの良い冷暗所に保管し、約10カ月後に食べごろを迎えます。

自分で仕込んだみそは、安全安心でおいしいと人気で、毎年恒例の活動となっています。参加者は「毎年おいしい



みそが出来上がるので楽しみにしています。10カ月後が待ち遠しいです」と笑顔で話しました。

(各支部)

手づくりのみそ仕込み、各地で

令和6年度 JA農業塾 募集

野菜栽培を本気で取り組みたい方、産直出荷を目指される方

JAひろしま佐伯中央地域(廿日市市・大竹市)の地域性を活かした野菜の安定供給体制を確立するため、栽培技術と販売力のさらなる向上に向けた知識・実技の基礎を習得していただき、産直市への出荷や、出荷量の増大を目指していただくことを目的として、『令和6年度JA農業塾』の受講生を募集します。受講ご希望の方は、JA支店またはアグリセンター窓口でお申込みください。

- 講座期間** 令和6年4月～令和7年1月
- 講座回数** 座学・実習含め15回程度を予定(座学・実習を月に1回ずつ)
- 募集人員** 20人程度(先着順)
- 受講条件** JAひろしま佐伯中央地域管内在住者(または管内に畑を所有)で平日の受講とお車での移動が可能なお方
- 受講料** 教材費等ご負担いただくようになります。予めご了承ください。
- 講習会場** 座学: JAひろしま佐伯中央地域営農経済センター(旧JA佐伯中央本店)
実習: 玖島圃場(廿日市市玖島3944-1)
- 申込締切日** 令和6年4月12日(金)



受講の詳細につきましては、受講申し込みをいただいた方に、後日ご連絡いたします。

※座学・実習の会場の都合により、募集人員に限りがありますので、定員になり次第締め切りとさせていただきますので、ご了承ください。

お問い合わせ・お申込みは 営農販売課 (☎ 0829-39-3215) 又は最寄の支店・アグリセンターまで

地域本部制度廃止に伴うご案内チラシに、一部誤りがありました。ATMコーナーの一時休止の対象ATMコーナーに「とれたれ元気市となりの農家店出張所」となっていますが、正しくは「とれたれ元気市となりの農家店出張所」でした。